

令和8（2026）年度

私費外国人留学生（学部留学生）

特別選抜学生募集要項



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610

東京都文京区大塚2丁目1番1号

Tel 03（5978）5151, 5152（入試課）

HP <https://www.ao.ocha.ac.jp/>

※感染症等の影響により、入学者選抜方法等を変更することがあります。
その場合、上記ホームページにて周知します。

目 次

○入学者受入方針	1
1. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー	1
2. 学部・学科別アドミッション・ポリシー	1
○学科のアドミッション・ポリシー	2
○私費外国人留学生(学部留学生)特別選抜 学生募集要項	7
1. 学部・学科別募集人員	7
2. 出願資格	7
3. 出願期間	8
4. 出願手続	8
コンビニエンスストアでの検定料支払い方法のご案内	10
5. 受験票の送付	11
6. 入学者の選抜方法等	11
7. 日本留学試験で受験を要する科目及び TOEFL 試験の受験を要する学科等について	11
8. 本学の入学試験	12
9. 合格発表	15
10. 入学手続等	16
11. 個人情報及び試験成績の利用について	16
12. 私費外国人留学生(学部留学生)特別選抜過去問題	16
13. 大学案内の請求	16
14. 令和9(2027)年度私費外国人留学生(学部留学生)特別選抜に関する変更の予告	16
○提出書類記入上の注意	17
○その他の案内	18
1. 奨学金	18
2. 入学料及び授業料の徴収猶予	18
3. 学生寮	18
4. 入学料・授業料徴収猶予と学生寮の申請書類について	19
5. アパート等の紹介	19
6. お茶の水女子大学交通案内	20

○ 入学者受入方針

1. お茶の水女子大学の教育とアドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、総合的な教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため、21世紀型文理融合リベラルアーツ教育、専門教育における複数プログラム選択履修制度、およびキャリア教育を3つの柱とする教育を展開しています。複数プログラム選択履修制度では、将来のキャリア展望や関心に応じて、専門教育プログラムを履修します。第1のプログラムとして、所属する学科の開設する「主プログラム」を履修します(必修、入学した学科のものを選択)。次に第2のプログラムとして、専門領域に深く特化する「強化プログラム」、他の専門領域を横断して学ぶ「副プログラム」、領域融合型・学際型の「学際プログラム」のいずれかを選択し履修します(選択必修)。また文教育学部芸術・表現行動学科及び生活科学部食物栄養学科では、それぞれの教育目標にそった4年一貫の「専修プログラム」を設けています。各自の目的や関心にそって、主体的に学修することができます。

お茶の水女子大学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

2. 学部のアドミッション・ポリシー

◆ 文教育学部

文教育学部は、人間と文化と社会に迫る、人文・社会系の総合的な学部です。人間は、過去から現在に至るまで地球上のさまざまな地域で、言語をはじめとする文化や科学技術を創造し、政治、経済、教育などの諸社会組織を発展させてきました。人間と文化と社会を理解するためには、時間軸と空間軸の上に現代社会を位置づけ、マクロからミクロに至る多次元的なアプローチが必要です。

高校での学習は、その後の人生を「よく生きる」ためのものです。本学部志望者には、高校において文科系の科目はもちろん理数系の科目まで幅広く、同時にどんな欲に深く学習することを望みます。

さまざまな領域や場で、リーダーが求められています。人間の思考や行動、表現に強い関心を持ち、意欲と能力と個性に富んだ皆さんが志望することを期待します。

◆ 理 学 部

理学部は、基礎科学の分野を研究対象として、主に自然界の原理や法則の追究を行うところです。女子大学の数少ない理学部として、知的好奇心溢れる女性を受け入れ、次世代のリーダーあるいは中核となる人材を育成し、社会に輩出することを目指しています。

本学部志望者には、高校において、理系科目(数学、理科[物理、化学、生物])を学び、論理的思考力を身につけるようにすること、及び、自然科学の基礎知識を習得しておくことはもちろんのこと、文系科目(英語、国語、社会)も幅広く履修し、筋道の立った文章が書けることなどが望まれます。

◆ 生活科学部

生活科学部は、人間生活における人間と環境との関係について、多角的な視点から見つめ直し、真にバランスの取れた人間の生活とは何かを探究する学部です。自然科学、人文科学、社会科学の3つの視点から、多面的に問題を考える姿勢を養うことが必要とされます。生活科学部では、それぞれの専門を深めるばかりでなく、文理融合の学部の特性を生かして、他の専門分野にも関心を持ち、多面的で総合的な視点から現実の人間生活の問題に取り組む力を持った、社会の多方面で活躍できる女性リーダーを育成することを目指しています。

高校における全ての科目が、大学での勉強に必要な基礎となりますので、志望学科の別を問わず、家庭科、芸術科、保健体育を含め、オールラウンドの学力を身につけておくことを期待します。

◆ 共創工学部

共創工学部は、幅広い自然科学・人文学・社会科学の教養と、工学とデータサイエンスの専門性を協働させることで、新たな価値を創出し社会でその成果を実践することを学ぶ学部です。これまで工学領域では様々な技術が開発され、その成果として私たちの生活は豊かに便利になってきました。しかし、その一方で環境負荷の増大や格差の拡大など、様々な社会上、倫理上の課題も浮上し、現在は、多様な人びとを包摂し、環境に優しい新発想の技術が社会で強く求められるようになっていきます。

この社会の要請に対し、本学部では、次のような学生を求めます。

1. 工学専門領域が連携しながら、人文学・社会科学と協働し、新しい技術や文化を創り、社会との対話を通じて新たな価値を実践・普及するグローバルリーダーを目指す人。
2. 自然科学・工学と人文学・社会科学の協働、データサイエンスやICT(情報通信技術)に強い興味を持つ人。
3. 科学技術を用いた社会や文化のイノベーションの推進に意欲を持つ人。

○学科のアドミッション・ポリシー

◆ 文教育学部

【人文科学科】

人文科学科は、人類のさまざまな歩みの中から、未来の英知につながるあらゆる現象を広く文化としてとらえる人間の知の総合学を志しています。深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけだし、必要な資料・データをねばり強く収集・整理したうえで、独自の論理を築きあげる力。勉学を続けていく場合でも、社会に出て活躍する場合でも必ず求められるこうした総合的な力を広く養成することが、本学科の目標です。

入学前には、さまざまな教科や科目について幅広く学ぶと同時に、自分の関心を持ったテーマについて自主的に読書や調査を行うことを通じ、知的探究の面白さを経験してきていただきたいと思います。いわゆる「指示待ち」型ではなく、物事を多面的に考えられる柔軟な思考力を持ち、独創的な解に到達しようとする意欲のある方の入学を希望します。とくに留学生には、異なる文化圏で生活・勉学することから掴むもの、そして他の日本人学友へのフィードバックを期待します。

人文科学科には、哲学・倫理学・美術史、比較歴史学、地理環境学のプログラムがあり、入学後、自分が何を学びたいのかを見極め、1年次末に人文科学科の各プログラム又はグローバル文化学のいずれかの主プログラムを選択します。入学後は一般の学生と同じカリキュラムを受講していくわけですから、それについていくだけの日本語能力と基礎学力が必要となります。

実際の入学試験では、日本留学試験及び本学の教科・科目に係る個別テスト(外国語)の成績、最終出身校の成績証明書、及び口述試験の結果などから総合的に可否を判定します。日本留学試験及び本学の入学試験では、日本語の能力を初めとして、高等学校卒業水準の全般的な基礎学力を見ます。口述試験では、これまで学んできたこと、入学後の勉学の計画と意欲、人文科学科で何を学びたいのかなどについて質問し、それらの問いに的確に回答できるかといった点を評価の対象とします。

【言語文化学科】

皆さんは生まれて以来、家庭や社会での生活の中で自分の母語を操る力を獲得してきました。また学校では、母語に加えて外国語の授業も受けてきたでしょう。そして、同時に、心揺さぶる文学作品にもいろいろと出会ってきたことと思います。そういった経験の中で言葉や文学の美しさ、不思議さを感じてきたことでしょう。

言葉や文学の美しさへの感動、不思議さへの好奇心は、まだ漠然としたものであるかもしれません。言語文化学科での学習・研究は、皆さんの好奇心を明確なことで形にし、さらにそれを解き明かしていく方法を皆さんに示してくれるはずです。いったんそのような方法に目を開かれたならば、言語も文学もこれまでよりさらに面白く、驚きに満ちたものであることに皆さんは気づくに違いありません。また、皆さんは言語のみでなく、それを支える各地域の文化や思想についても学ぶことになるでしょう。異なる文化圏から来られる皆さんにとっては、異文化間の交流ということも興味のあるテーマではないでしょうか。そうした事柄についても、ぜひ本学科で学習してほしいと思います。

言語文化学科は、言葉に愛着を持ち、以上述べてきたような学習・研究に興味を持ち、そのための訓練に耐えられるだけの十分な基礎学力と、旺盛な知的な好奇心と、言葉への愛着を持ち、主体性と協働性を持って行動できる学生を求めます。

言語文化学科では、日本語・日本文学、中国語圏言語文化、英語圏言語文化、仏語圏言語文化という4つのプログラムを開設しています。入学後、自分が何を学びたいのかを見極め、1年次末に主プログラムを決定することになります。

選考は、語学能力と全般的基礎学力を測るために、日本留学試験の点数を参考とし、また外国語の試験、面接による口述試験が課されます。口述試験では、質疑を通して、本学での学習計画などを的確に相手に伝えられるかどうかといったコミュニケーション能力や自己表現力を判断します。さらに最終出身校での成績などを加えて総合的に可否を判定します。

【人間社会科学科】

本学科には、人間の発達について教育科学的、総合的に考えたり、人間の意識や行動の社会的側面を考察したり、子どもが育つ環境や文化について考えるなどの、様々な研究アプローチがありますが、共通しているのは、自分を含めた「人間」に対するあくなき好奇心です。人間に関わる諸問題を学問的に解明したり、そこで得られた知識を実際に役立てていきたいと考える学生の進学を期待します。本学科を受験するにあたっては、様々な教科や科目について幅広く学んできてください。特に、日本語・英語(外国語)・数学は、大学での学修と研究にとって大変重要な基礎的能力として必要です。このほか社会科学(地理、歴史、公民など)や自然科学(理科)の学習を通じて、人間について深く考える姿勢と能力を身につけた学生を歓迎します。

人間社会科学科では、教育科学、社会学、子ども学のプログラムを設けています。入学後、各プログラムの特徴と自分の関心とを精査検討し、1年次末にいずれかの主プログラム又はグローバル文化学主プログラム

を選択することになります。

出願資格には、日本留学試験を受験した者であることを定めています。この日本留学試験によって、日本語能力と、幅広い基礎的な知識・教養を身につけているかどうかを判断します。また入学試験では、大学での研究に必要不可欠な基礎的能力と日本語能力を身につけた志願者を得るために、外国語の教科・科目に係る個別テストと口述試験を行います。

【芸術・表現行動学科】

本学科は、人間の芸術及び表現行動としてのパフォーマンスとその学問的研究との両方を、同時に追求しようとする貪欲な人を求めています。本学は小規模ながらも総合大学ですから、その特性を十分に利用して、「自ら」多様な可能性を切り開こうという積極的姿勢が要求されます。

なお本学科では、舞踊や音楽の理論と実技の双方の習得を目的とし、4年一貫で履修する専修プログラムを設け、複数プログラム選択履修制度をとっておりません。受験の際に選択したコース(専修プログラム)を履修します。

実際の入学試験では、日本留学試験及び本学の教科・科目に係る個別テスト(外国語)の成績、最終出身校の成績証明書、及び実技検査の結果などから総合的に可否を判定します。

【舞踊教育学】:

本専修プログラムは、舞踊を中心にスポーツから日常動作にいたる人間の身体活動や表現について、理論と実践の両面から積極的に研究を進めることのできる、両者のバランスの取れた、エネルギー溢れる人材を求めています。

【音楽表現】:

音楽は人間の感性に関わるとともに、高度に知的社会的な活動であり、人間の営みに深く根づいています。本専修プログラムは、勉強も実技もきちんとやってみたい、そんな贅沢な悩みを抱えている人に開かれています。

※グローバル文化学(環)プログラム

グローバル化する現代社会の課題を、①地域研究・地域文化、②多文化交流・多文化共生、③国際協力・国際関係、という3つの領域を組み合わせることで、動態的に捉え、実践的に学んでいこうというのが、グローバル文化学のコンセプトです。

その特徴は、文教育学部の3つの学科(人文科学科・言語文化学科・人間社会科学科)のいずれの学生も、主プログラムとして選択できることです(各学科の学生数の15%程度を上限とします)*。また、所属学科のいずれかの副プログラムを履修することで、学際的な学びができます。このような特徴から「学環」と呼んでいます。

この学環での学修を希望する人は、自分の関心や得意分野にそって、受験する学科を選んでください。カリキュラムなど、さらに詳しい情報を知りたい人は、文教育学部グローバル文化学環のホームページにアクセスしてみてください。

* ただし、人間社会科学科は教育科学・子ども学コースを除きます。

◆ 理 学 部

【数学科】

数学は、あらゆる現象の背後にある数や図形の永久に変わらない真理を追究する学問です。それを学ぶことで、魂を揺さぶる美しいものや実生活で役に立つものに出会い、また世界を見通すための厳格な論証法を身につけられると考えます。

このような観点から、数学科では主に以下のような目標を持った人を求めます。

- ・教師や研究者のように数学を職業としたい人
- ・数理的な素養を生かして社会を支える仕事につきたい人
- ・とにかく数学に対して意欲を持って勉強したい人

志願者に求めるのは以下のことです。

- ・高校での数学を十分に理解し、大学での講義に必要な数学の知識を身につけている。
- ・文章から数学的な意味を読み取ることができる。
- ・自分の考えを数学的、論理的な文章に表現して相手に伝えられる。

【物理学科】

自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を希望します。(もちろん、必要になれば教員の適切な助言及び指導を受けることができます。)また、豊かな人間性ととともに、他人との協調性に優れた人格が望まれ、忍耐力も必要です。卒業後には物理学の勉学を通して培った、「物事の法則を発見しそれを応用する能力」を各方面で発揮し、社会において指導的役割を果たす女性となることを期待しています。しかしながら究極的には、「物理学を学んで生き生きと充実した人生を送ること」が最も大切と考えています。

【化学科】

化学は、原子・分子をなかだちとして自然科学のあらゆる分野と密接に関係しており、その領域は数学・物理学の理解が不可欠な分野から、さらに生物学や地球科学の知識の必須な分野まで広がっています。したがって、化学科の志願者は、高校では化学のほかにこれらの基礎となる科目、特に、数学・物理・生物を幅広く履修して、理論的思考力や自然科学の基礎知識をしっかりと体得しておくことが望まれます。また、英語で書かれた文献を読みこなす語学力も要求されますので、高等学校での英語の十分な学習が必要です。入学後には、専門の学習や研究の基盤となる実験能力を養うため、学生実験を重視しています。

これらを踏まえて、入学試験においては、総合的理解力をその評価基準とします。

【生物学科】

生物学では、多種・多様な“生き物”の複雑で多様な生命現象を研究します。そのためには、いろいろな視点から考える柔軟な思考力とそれを支える幅広い基礎知識が必要です。したがって、高校生時代を通して、理系、文系を問わず、教科科目を幅広く学び、論理的思考や知的好奇心をはぐくんでいることを希望します。また、“生き物”の複雑で多様な生命現象を観察し、“生き物”と忍耐強く対話し、自ら考え、自ら問題を見つけ、試行錯誤しながらこれを解決する意欲とパワーを持つ学生を希望します。“生き物”に関する理解と関心を深め、より豊かな知の財産を築ける人に育つことを期待しています。

【情報科学科】

情報科学はコンピュータの出現によってその存在と価値が確かめられた「情報」とよばれる概念を、エネルギーや物質と並ぶ世界の主要な構成要素として認識し、その生成、管理、利用に関する原理を探究する新しい学問分野です。今日、その応用は自然科学や工学のみならず、社会科学や人文科学にも及んでいます。

この奥深さを理解し、これまでの成果を学びたい人、さらに今後の進展に積極的に貢献したい人にぜひ進学してきてほしいと思います。情報科学は、これまでの数理科学や自然科学の考え方を偉大な先達として独自の方法論を展開しようとしていることから、広くかつ深い理系のセンスが問われます。情報科学を通じて 21 世紀の科学技術を支えるのは自分たち女性だと心底思っている人、あるいは思いたい人、あるいはそう言われて「そうなんだ」と今気づいた人を大歓迎します。

◆ 生活科学部

【食物栄養学科】

食物栄養学科は、豊かな食生活や健康な社会の実現に向けて、食物と栄養や健康に関する科学的視点と実践力を身につけた社会のリーダーとなる専門家の育成をめざしています。そのために食物と栄養に関する様々な学問分野において、分子、遺伝子、細胞レベルから人間栄養学的なものまで幅広く教育研究を行っています。

本学科の教育の特徴は、管理栄養士養成課程に必要な多数の実験や臨地実習を含む長時間にわたる実験・実習が必修となっていることです。実験・実習科目は1、2年より開講され、特に3年生の午後は毎日実験・実習が当てられています。所定単位を取り、本学科を卒業すると、栄養士資格が取得できると同時に、管理栄養士の国家試験受験資格と食品衛生監視員の任用資格が得られます。また、栄養教諭(一種)免許を取得することも可能です。

本学科の教育研究は実験科学を基盤とした上で生活や社会との接点を重視するため、本学科に進学する学生には、忍耐強く実験・実習に取り組めること、自ら考え行動できること、他者とコミュニケーションをとりながら物事を進められることを望みます。高等学校では、理数系の基礎をしっかりと履修すること並びに生活に即した学習を重視することを望みます。

選考では、試験の成績と口述試験の結果及び日本語能力を総合して判定します。

【人間生活学科】

本学科では、豊かな人間生活の実現を担う人材の育成を、「生活社会科学」、「生活文化学」という相互に関連する2つのアプローチを通して追求します。①生活社会科学:地域社会から国際社会まで、多元的な社会環境を視野に入れて、家族、消費者、女性、高齢者、子ども、制度と政策の問題などの生活と社会及びその関係について社会科学的視点から分析し、政策の立案・提言を探究します。②生活文化学:人間にとって最も身近な服飾と住居、工芸、デザインなどの生活造形を生み出し、子どもを育ててきた生活文化の歴史と現在について、比較文化的・民俗学的・歴史学的・保育学的視点から考察し、理解を深めます。これらの人間生活に関わる諸課題に関心があり、問題意識と研究意欲を持っている人、錯綜する現代の生活状況の中で、人間性を重視した社会を築くために貢献したいと考えている人、潤いのある生活を実現しようという熱意を持っている人を歓迎します。

本学科を志望する人は、日本語を十分に学習しているとともに、人間生活学科の2つのアプローチを踏まえ、高等学校において、歴史、地理、政治、経済などの社会科系の科目をしっかりと履修していることはもちろんのこと、英語、数学をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

【心理学科】

心理学は、人間の心理的プロセスを科学的に解明し、エビデンスに基づいて人々の生活する環境や社会の課題解決を目指す学問領域です。本学科では、心理学における実験や調査による基礎・実証的なアプローチと、対話やカウンセリングによる臨床・実践的なアプローチの両者から、研究と教育に取り組みます。

この目的を理解して、人間の行動と心に関する科学的な見方と深い洞察力を磨き、現代の生活環境や社会の諸問題に取り組む研究意欲のある人、心の発達や健康への心理臨床的支援を行うことで社会に貢献しようという熱意のある人の進学を歓迎します。

本学科に入学した学生は、1年次より、心理学主プログラムを選択することになります。一定の基準に従い、公認心理師受験資格に必要な科目を履修することも可能です。

志望する人は、日本語の学習とともに、高等学校において、英語(外国語)・数学をはじめ、高等学校における教科科目を偏り無く履修していることを強く望みます。

◆共創工学部

【人間環境工学科】

人間環境工学科は社会課題の解決に向けて、主に社会科学知と工学・テクノロジーを協働させることで社会イノベーションを推進する力の育成を目標とします。イノベーション推進には、技術開発に留まらず、ロジックモデルを用いることでプロセス全体を見通せることが求められ、この点が従来の工学とは異なる新しさとなります。

人間環境工学科においては、次のような学生を求めます。

1. 人々との協働のもと、イノベーションの社会実践を通じて新たな価値の創成にチャレンジする女性リーダーを目指す人。
2. 持続可能な環境を構想するために求められる科学的思考力と設計力を修得するのに必要な、理科系を中心とする基礎学力を持つ人。
3. 自然科学・工学と人文学・社会科学の協働、データサイエンスや ICT(情報通信技術)に強い興味を持ち、人間、環境、材料分野などの工学系分野に関する専門知識の修得に意欲のある人。
4. 環境や社会から独自に疑問を見出す課題発見力と科学技術を用いた工学的アプローチによる問題解決策の発想力・設計力(デザイン力)を身につけたいと考える人。

【文化情報工学科】

文化情報工学科は、人間の文化に関する知(人文知)をデータサイエンスや工学と協働し、文化のイノベーションを推進する力の育成を目標とします。

文化情報工学は、人文知に工学を協働させることにより生み出される、人間の文化を尊重する新しいタイプの工学です。情報・工学技術を用いて、文学、言葉、芸術、思想、歴史、地理などに関する多種多様な情報をデジタル化(収集・生成・可視化)し、分析を行い、新たな作品や価値を創出します。

文化情報工学科においては、次のような学生を求めます。

1. 文化情報工学は、これまで別個に考えられてきた文化、情報、工学の協働を目指します。文理の別に拘わらず、人間や社会で生起する事象に対する幅広い知的好奇心と、データや論理的思考で自ら解明していく意欲及び探究力を持っており、その結果を社会での発信や実践につなげる意志を持つ人。
2. 人間の文化や社会に関心を持ち、コンピュータや情報通信技術に興味を持ち、自分の手でものを作ることが好きな人。
3. データサイエンスの基礎知識を用いた社会や文化の分析に関心を持ち、将来、データサイエンスや情報通信技術の知識や技能を活用する職業につきたい人。
4. 文化の創造に関心を持ち、データサイエンスや工学の基礎知識や技能を用いた作品の創造や発信、多様な人々との協働を通じた社会での実践を志す人。

○私費外国人留学生(学部留学生)特別選抜 学生募集要項

1. 学部・学科別募集人員

学 部	学 科	募集人員
文教育学部	人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科(注)、芸術・表現行動学科	若干名
理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科	若干名
生活科学部	食物栄養学科、人間生活学科、心理学科	若干名
共創工学部	人間環境工学科、文化情報工学科	若干名

(注) 人間社会科学科は出願時に注意事項があります。事前に必ず下記ホームページをご確認ください。

<https://www.ao.ocha.ac.jp/news/d013168.html>

なお、人間社会科学科教育科学・子ども学コースの出願資格・選抜方法はすべて人間社会科学科と同じです。

2. 出願資格

次の(1)及び(2)の両方に該当する日本国籍を有しない女子で、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、在留資格「留学」又は「留学」に変更できる在留資格を有する者及び取得できる見込みの者

(1) 次のいずれかに該当する者。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年(2026年)3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者又は令和8年(2026年)3月31日までに取得見込みの者。
- ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者又は令和8年(2026年)3月31日までに取得見込みの者。
- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者又は令和8年(2026年)3月31日までに取得見込みの者。
- ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者又は令和8年(2026年)3月31日までに取得見込みの者。
- ⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者又は令和8年(2026年)3月31日までに取得見込みの者。
- ⑦ 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は令和8年(2026年)3月31日までに修了見込みの者

(2) 独立行政法人日本学生支援機構主催の「日本留学試験」を受験した者。

(受験を要する科目については、11ページを参照)

(注) (1)①の「これらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」は、次のとおり。

- ・ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格した者で、18歳に達した者及び令和8年3月31日までに18歳に達する者
- ・ 外国において、高等学校に対応する学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを令和8年3月31日までに修了した者又は修了見込みの者

さらに、理学部物理学科、生活科学部食物栄養学科を志願する者については、「TOEFL 試験」の受験が必要である。

なお、日本において高等学校を卒業又は同等以上の資格を得た者は、一般選抜志願者用の募集要項により出願すること。

3. 出願期間

令和7(2025)年12月9日(火)～12月11日(木) 【必着】

ただし12月10日(水)以前の日本国内の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

4. 出願手続

(1) 出願方法

角形2号封筒に提出書類を一括して封入し、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロード、印刷した封筒貼付用宛名シートを貼り付けて、「書留速達」で下記宛に郵送すること。

郵送以外は受け付けないので注意すること。

〔送付先〕 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 お茶の水女子大学入試課

(注1) 検定料の支払い期限は、出願締切日の午前9時である。収納証明書又は受領書を提出書類に同封する必要があるため、期限に注意すること。

(注2) 提出書類を受理したことを、志願者に通知はしない。提出書類の配達状況は郵便局の郵便追跡サービスで確認すること。

(2) 提出書類等

出願書類		摘 要
※1	志願者名票・ 受験票・写真票	4cm×3cmで出願前3か月以内に撮影した写真2枚を指定欄に貼付。
2	卒業(見込)証明書	出身学校(日本の高等学校に対応する学校)の卒業(見込)証明書の原本(写しは不可) バカロレア資格、アビトゥア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格、インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はヨーロッパ・バカロレア資格により出願をする者は、その証書の写し又は取得見込みであることの証明書の原本(写しは不可)を添付する。
3	成績証明書及び 推薦書	出身学校(日本の高等学校に対応する学校)の成績証明書の原本(写しは不可)と、最終出身校の関係教員の推薦書(様式任意)。
4	作文	日本語による自筆の作文(様式任意、ワープロ書き不可。1,000 字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について) 必ず氏名を記入すること。
5	受験票の写し	2025年度日本留学試験の受験票の写し
※6	実技関係調査書	文教育学部芸術・表現行動学科志願者のみ本学所定の用紙で提出すること。
※7	健康診断書	芸術・表現行動学科舞踊教育学専修プログラム志願者のみ提出すること。本学所定の用紙に医師(学校医を含む)が記入・押印すること。 健康診断書の提出は、実技検査を安全に行うために健康状況を把握するためのもので、その内容は、試験の成績には一切影響しない。
8	TOEFL の試験結果	理学部物理学科、生活科学部食物栄養学科志願者のみ提出すること。 詳細は11ページの(2)TOEFL(Test of English as a Foreign Language) 試験の受験を要する学科等を参照。
9	住民票の写し等	出願時に日本国内に在住している者は、本人部分を証明した市区町村発行の住民票の写し(在留資格が明記されたもの、コピー不可)又は在留カードの写し(表裏両面)を提出。また、出願時に日本国外に在住している者は戸籍謄本・出生証明書・パスポートの写し等の本人確認ができる公的証明書を提出。

10	検定料 (収納証明書または 受領書等)	17,000円(手数料別途) コンビニエンスストアでの払込を行うこと。支払方法については10ページを参照。 「収納証明書」又は「受領書」は、志願者名票裏面に貼付すること。 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 1. 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合 2. 検定料を誤って二重に振り込んだ、又は多く振り込んだ場合 検定料は出願者からの返還請求に基づき返還するので、上記の返還事由に該当する場合には、試験初日の前日までにお茶の水女子大学入試課に請求すること。(出願した後に受験を取りやめた場合は、返還事由に該当しない。) ※日本国外から出願する場合も、可能な限り代理人(日本に在住する者)が日本国内からの振り込み方法により納入すること。やむをえず海外から送金する場合は、振込銀行手数料(海外銀行分)と支払銀行手数料(日本国内銀行分)の両方が依頼人(出願者)負担となるよう現地で申し出た上で、必ず日本円で振り込むようにすること。その上で、検定料の全額が、出願期間内に大学に到着するように送金すること。海外送金に当たって必要な情報は次のとおり。 銀行名(Bank name): MUFG Bank, LTD. 支店名(Branch): Head Office 銀行住所(Address): 2-7-1, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan 受取名義人(Beneficiary): Ochanomizu University 口座番号(Account No.): 7876401 SWIFT Code: BOTKJPJT
※11	宛名票(2枚)	受験票の返送に使用するので、確実に連絡がとれる住所(日本国内に限る)を記入すること。2枚全てに記入すること。

※志願者名票・写真票・受験票、実技関係調査書、健康診断書、宛名票は、本学入試課ホームページの「学部募集要項」からダウンロードし、A4判片面で印刷すること。

(注) 出願書類のうち日本語及び英語以外の言語で書かれた証明書等については、その日本語訳を添付すること。

(3) 受験上・修学上の配慮の事前相談について

- ① 本学に入学を志望する者のうち、心身に障がいあるいは疾病があり、受験上の配慮を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、出願期間前に入試課に申し出ていただき、令和7(2025)年10月24日(金)までに「受験上の配慮事前相談申請書」「医師の診断書」等をご提出ください。なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様にお申し出ください。
- ② 本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する者を2020(令和2)年4月入学者から受け入れることとしました。戸籍又はパスポートの性別と性自認が異なっている者については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、令和7(2025)年10月31日(金)までに必ず入試課に申し出てください。その際に、「出願申出書」及び「住民票又はパスポートの写し」等を提出していただき、出願資格等の確認をいたしますが、申出によって、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

各入試出願締切日の9時までに操作してください

下記のコンビニ端末にてお支払いください

各入試の出願期間1カ月前より、お支払いいただけます。

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINISTOP Loppi**

<https://www.lawson.co.jp>
<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門・小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、
FamilyMart

マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「保険／学び・教育」よりお申込みください。



保険／学び・教育
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

お茶の水女子大学 または お茶の水女子大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「払込票／申込券」を発券ください。

*画面ボタンデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

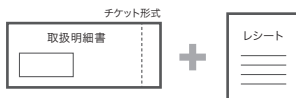
①コンビニのレジでお支払いください。 端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

②お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。



(ファミリーマート)

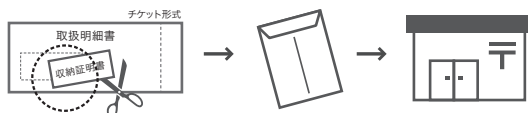
②お支払い後レシート(受領書)をお受け取りください。



3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の「収納証明書」部分を切り取るか、または受領書(レシート)を願書裏面等の所定の位置に貼り付け、出願書類とともに郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある期は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問い合わせ先】 お茶の水女子大学 入試課 TEL 03-5978-5151(学部入試) TEL 03-5978-5697(大学院入試)

(受付時間)月曜～金曜 9:00～17:00 *土曜・日曜・祝日・年末年始を除く

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

5. 受験票の送付

- (1) 「お茶の水女子大学受験票」は、「受験者心得」とともに、令和8(2026)年2月17日(火)頃発送する予定。なお、2月19日(木)を過ぎても到着しないときは、入試課へ問い合わせること。
- (2) 受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」及び「2025年度日本留学試験受験票」を必ず持参すること。

6. 入学者の選抜方法等

志願者(理学部物理学科志願者を除く)に本学の入学試験を課し、その結果と日本留学試験成績及び最終出身校の成績証明書等の提出書類の内容を総合して合格者を判定する。

なお、理学部物理学科を志願する者には、本学の入学試験は課さず、日本留学試験、TOEFL 試験及び最終出身校の成績証明書等の提出書類により合格者を判定する。

7. 日本留学試験で受験を要する科目及び TOEFL 試験の受験を要する学科等について

(1) 日本留学試験で受験を要する科目等

本学を受験する者は、下表に示す2025年度日本留学試験を受験していなければ、本学の入学試験を受験しても入学許可は得られないので、十分に注意すること。

学 部	学 科	受験を要する科目					成績利用
		日本語	総合科目	数学	理科(物理・化学・生物)	出 題 語	
文教育学部	全 学 科	○	○	1又は2		日本語	6月/11月
理 学 部	数 学 科	○		コース2	2科目自由選択	日本語	6月/11月
	物 理 学 科	○		コース2	物理を必須とし、化学・生物から1科目選択	日本語	6月/11月
	化 学 科	○		コース2	化学を必須とし、物理・生物から1科目選択	日本語	6月/11月
	生 物 学 科	○		コース2	生物を必須とし、物理・化学から1科目選択	日本語	6月/11月
	情 報 科 学 科	○		コース2	2科目自由選択	日本語	6月/11月
生活科学部	食 物 栄 養 学 科	○		コース2	2科目自由選択	日本語	6月/11月
	人 間 生 活 学 科	○	○	1又は2		日本語	6月/11月
	心 理 学 科	○	○	1又は2		日本語	6月/11月
共創工学部	人 間 環 境 工 学 科	○		コース2	2科目自由選択	日本語	6月/11月
	文化情報工学科	○	○	1又は2		日本語	6月/11月

[注1]「2025年度日本留学試験」の6月又は11月の成績を利用するので、利用してほしい受験回の受験番号を志願者名票に記入してください。

[注2]数学について、文教育学部、生活科学部(人間生活学科、心理学科)及び共創工学部(文化情報工学科)では、コース1又はコース2のいずれかを受験してください。

(2) TOEFL(Test of English as a Foreign Language) 試験の受験を要する学科等

① 対象者

理学部物理学科及び生活科学部食物栄養学科志願者

② 注意事項

- 団体特別受験制度(TOEFL-ITP)のスコアは認めない。
- 公式認定証スコアの原本を提出する。本学入学試験日から遡り2年以内に受験したものを有効とする。
- 令和7(2025)年11月30日までに到着したスコアを有効とするので、期限までにお茶の水女子大学に到着するように手続をすること。

③ 試験結果の提出方法

TOEFL テストのスコアは、TOEFL-iBT のスコアのみを有効とする。TOEFL のスコア票については、下記2点の両方を提出する。

- ETSから本学宛に直送される“Official Score Reports”(公式スコアレポート)
 - 試験実施機関(ETS)から直接お茶の水女子大学に送付する手続を執ってください。

- ・お茶の水女子大学の登録コード番号は 7224 です。学部別のコード番号はありません。TOEFL 申込時に、このコード番号により手続を行えば、試験後に直接お茶の水女子大学へ試験結果が送付されます。
- ・テスト申込時にお茶の水女子大学への送付手続を行わなかった場合には、後日 ETS の定めにしたがって Official Score Reports の送付手続を執ってください。
- ・送付手続の具体的な方法については、TOEFL のウェブサイトを確認してください。なお、スコアレポートの送付には試験日から1ヶ月半～2ヶ月かかるため、余裕を持った受験計画を立ててください。

2. ETS から本人宛に送付される“Test Taker Score Report”(受験者控えスコアレポート)の写しを出願時に他の書類と同封してください。

8. 本学の入学試験

(1) 試験期日

令和8(2026)年2月25日(水)、26日(木)

(2) 教科・科目に係る個別テスト教科・科目

志望する学部学科		出題教科	出題科目(出題範囲)
文 教 育 学 部	人 文 学 科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
	言 語 文 化 学 科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
	人 間 社 会 学 科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ ※教科・科目に係る個別テストのほかに、実技検査を行う。13～14 ページ(3)を参照
理 学 部	数 学 学 科	数学 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
	物 理 学 科		教科・科目に係る個別テストは課さない。7. (2)を参照
	化 学 学 科	数 学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 化学基礎・化学と、 物理基礎・物理、生物基礎・生物から1
		外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
	生 物 学 科	数 学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 生物基礎・生物と、 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1
		外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
	情 報 学 科	数 学 数学・理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C、物理基礎・物理、 化学基礎・化学、生物基礎・生物から2
		外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
生 活 学 部	食 物 栄 養 学 科	数 学 理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1
		外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
	人 間 生 活 学 科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
共 創 工 学 部	心 理 学 科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
	人 間 環 境 工 学 科	数 学 数学・理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C、物理基礎・物理、 化学基礎・化学、生物基礎・生物から2
		外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ
	文 化 情 報 工 学 科	外国語	英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ

[注]

- 1 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Aは、全範囲から出題する。数学Bについては、「数列」を出題範囲とする。数学Cについては「ベクトル」を出題範囲とするが、理学部全学科及び共創工学部人間環境工学科の「数学・理科」では「平面上の曲線と複素数平面」からも出題する。
- 2 「物理基礎・物理」については、物理基礎、物理の全範囲から出題、「化学基礎・化学」については、化学基礎、化学の全範囲から出題、「生物基礎・生物」については、生物基礎、生物の全範囲から出題する。

(3) 実技検査

芸術・表現行動学科「舞踊教育学専修プログラム」志願者に次の検査を行う。

1 必須課題

舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動

2 舞踊課題

下記の①と②を行う。

- ① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。

＜使用する音源について＞

- ・使用する音源は予め CD-R に録音(書き込み)し、持参すること。
- ・使用する CD-R には、受験番号と氏名を記入すること。
- ・音出しに関する受験生からのリクエストには対応できない

＜録音(書き込み)に関する注意事項＞

- ・CD-R への録音(書き込み)は WAV や AIFF、MP3、WMA などのファイルを記録する「データ CD 形式」ではなく、一般の音楽 CD と同じ「オーディオ CD(CD-DA)形式」で行うこと。
- ・パソコンではなく CD レコーダーで録音する場合は、最後に必ずファイナライズをすること。ファイナライズをしていない CD-R は他の機器では再生不可能。
- ・録音(書き込み)をした CD-R は、必ずラジカセやミニコンポなど複数の CD プレーヤーで再生できることを確認の上、持参すること。

- ② 創作：課題は当日提示する。

・ 実技検査に持参するもの

- ① 体育館シューズ(全受験者)
- ② 各自課題に必要な服装[ゼッケン(縦15cm×横20cm の白布に本学の受験番号を記入したもの)を前面に縫い付ける]、用具、靴等
- ③ 音源
- ・「舞踊課題」の試験場の床はリノリウムである。松脂の使用は不可。また、タップダンスなどで底の硬い靴を使用する場合は、こちらで用意した2m四方の板の上で行う。
- ・「舞踊課題」の試験場の高さは2m76cmと低いいため、新体操等での手具を投げる演技は不可。
- ・大学ホームページ 舞踊教育学専修プログラム内「入試 実技に関する Q&A」を参照のこと。<https://www.li.ocha.ac.jp/ug/geijutsu/buyou/coursemenu/qanda.html>

芸術・表現行動学科「音楽表現専修プログラム」志願者に次の検査を行う。

- 1 ソルフェージュ:以下のaとb
 - a. 聴 音(単旋律及び2声体)
 - b. 新曲視唱
- 2 演奏実技:以下のa、b、cを実施する。
 - a. 声 楽:イタリア古典歌曲(原語、パリゾッティ版準拠^[注 1])の中から任意の1曲を演奏すること。
 - b. ピアノ:以下の①と②をこの順番で演奏すること。
 - ①音階(ハノン39番に準拠。全調より当日抽選によって決定した各自の課題調(長調とその平行調)を演奏^[注 2]。
 - ②J. S. バッハの《インヴェンション》又は《シンフォニア》から任意の1曲
 - c. 以下の①又は②のいずれかを選択すること。
 - ①声楽:日本歌曲、又は、アリア(原語・原調)か外国歌曲(原語)の中から任意の1曲を演奏すること。
 - ②ピアノ:ベートーヴェンのピアノソナタの中から任意の1曲の第一楽章を演奏すること。

☆注意点

- ・ 演奏実技は、全て暗譜で行うこと。
- ・ 声楽の演奏実技(a、及び、c①)について: 伴奏は本学演奏員が行うので、下記要領で整えた伴奏譜を出願書類と共に送付すること。尚、伴奏譜は返却しない。

- ① 氏名を明記すること。
- ② 楽譜の大きさは、1 ページ縦 30cm×横 22cm 又はA4 縦とする。
- ③ 楽譜は、声部、歌詞及びピアノ伴奏部が記載されていること。
- ④ 楽譜は伴奏者が見やすく、扱いやすくするために画用紙程度の台紙に貼りつけて折本仕立てにして、各ページを全開できるように製本すること。

1 頁 目	2 頁 目	3 頁 目	4 頁 目 ...
-------	-------	-------	--------------

楽譜のつなぎ目をテープ等で留める

[注 1,2]

大学ホームページ 音楽表現専修プログラムページ内「実技検査に関する Q&A」を参照のこと。

<https://www.li.ocha.ac.jp/ug/geijutsu/ongaku/coursemenu/qanda.html>

(4) 口述試験

各学部(理学部物理学科は除く)とも口述試験を行う。

(注) 2月25日の試験のうち1科目でも受験しなかった者は、2月26日の口述試験の受験を認めない。

(5) 入学試験日時割

		令和8(2026)年 2月25日(水)		令和8(2026)年 2月26日(木)	
文 教 育 学 部	人文科学科 言語文化学科 人間社会科学科		外 国 語 13:00 ～ 14:40	口述試験 14:00～	
	芸術・表現行動学科 (舞踊教育学専修プログラム) (音楽表現専修プログラム)			実技検査 10:00～	
理 学 部	数学科	数学共通 10:00 ～ 11:40	外 国 語 13:00 ～ 14:40	数 学 10:00～12:00	口述試験 14:00～
	化学科			化学・選択(物理、生物) 10:00～13:00	
	生物学科			生物・選択(物理、化学) 10:00～13:00	
	情報科学科			選択(数学、物理、化学、生物) 10:00～13:00	
生 活 科 学 部	食物栄養学科	数 学 10:00 ～ 11:40	外 国 語 13:00 ～ 14:40	選択 (物理、化学、生物) 10:00～11:30	口述試験 14:00～
	人間生活学科				
	心理学科				
共 創 工 学 部	人間環境工学科	数 学 10:00 ～ 11:40	外 国 語 13:00 ～ 14:40	選択(数学、物理、化学、生物) 10:00～13:00	口述試験 14:00～
	文化情報工学科				

※ 受験上の注意等については、受験票送付の際に同封する。

9. 合格発表

令和8(2026)年3月9日(月)正午

上記日時に合否照会システムで通知する。

電話等による合否の問合せには一切応じない。



合否照会システム <https://www.gouhi.com/ocha/>

10. 入学手続等

入学手続の詳細は、ホームページにてお知らせします。

https://www.ao.ocha.ac.jp/admission_procedure/index.html

(1) 入学料及び授業料

① 入学料:282,000円(予定額)

② 授業料年額:535,800円(半期分 267,900円)(予定額)

(注1) 入学手続時に入学料と授業料(前期分又は前期後期分)を併せて納入することもできる。

(注2) 入学手続完了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納入者の申出により入学手続時に納入した当該授業料相当額を返還する。なお、入学料は返還しない。

(注3) 入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。

(注4) 入学料及び授業料の徴収猶予については、18ページの「2. 入学料及び授業料の徴収猶予」を参照のこと。

(2) 入学手続期間

令和8(2026)年3月10日(火)～3月15日(日)

インターネット上の手続及び郵送により行います。

(注) 所定の期日までに手続をしない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

11. 個人情報及び試験成績の利用について

(1)個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則」に基づいて適切に取り扱います。

(2)大学が取得した氏名、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、授業料免除、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行う為に必要な範囲内で利用します。

(3)入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。調査・分析等結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

(4)お茶の水女子大学は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、本人の同意を得ることなく今回入手した個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

12. 私費外国人留学生(学部留学生)特別選抜過去問題

過去問題は本学入試課ホームページに掲載していますので、参考にしてください。

入試課ホームページURL:<https://www.ao.ocha.ac.jp/>

13. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、お茶の水女子大学大学案内を参照してください。大学案内はテレメールで請求できます。<https://telemail.jp> にアクセスしてください。大学案内の資料請求番号は「562372」です。

また、入試課ホームページ(<https://www.ao.ocha.ac.jp/>)からも請求できます。

なお、テレメールでの請求に関しては、テレメールカスタマーセンター(電話 050-8601-0102)(9:30～18:00)にお問い合わせください。



14. 令和9(2027)年度私費外国人留学生(学部留学生)特別選抜に関する変更の予告

変更の予定はなし。

○提出書類記入上の注意

1. 日本国内の連絡先

本学からの連絡、受験票の送付等は、すべてこの住所宛に行う。確実に連絡できる場所を記入すること。電話は、呼び出しでもよいから、番号と呼出先を書くこと。別添の「宛名票」も記入すること。

2. 出願資格

A欄 学校教育における12年の課程修了(見込)者は、小学校(初等教育)入学年月日から、最終学歴の修了(見込)年月日までを記入すること。

B欄 A以外の資格により出願する者は、その資格試験等の名称、及び資格取得年月日を記入すること。

3. 志望学科等

志願者名票・写真票・受験票の志望学科欄には、次に示す名称で記入すること。

(1) 文教育学部志願者

学 科	人文科学科	言語文化学科	人間社会科学科	芸術・表現行動学科
-----	-------	--------	---------	-----------

(注)人間社会科学科は出願時に注意事項があります。事前に必ず下記ホームページをご確認ください。

<https://www.ao.ocha.ac.jp/news/d013168.html>

人間社会科学科 教育科学・子ども学コースを志望する者はコース欄にもチェックすること。

コース	教育科学・子ども学コース
-----	--------------

芸術・表現行動学科を志望する者は、専修プログラム欄にも次のいずれかにチェックすること。

専修プログラム	舞踊教育学	音楽表現
---------	-------	------

(2) 理学部志願者

学 科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	情報科学科
-----	-----	------	-----	------	-------

(3) 生活科学部志願者

学 科	食物栄養学科	人間生活学科	心理学科
-----	--------	--------	------

(4) 共創工学部志願者

学 科	人間環境工学科	文化情報工学科
-----	---------	---------

4. 写真

- (1) カラーでも白黒でもよい。
- (2) 単身・正面向き・上半身、縦4cm×横3cm、出願前3か月以内に写したもの。
- (3) メガネ使用者は、メガネ着用のこと。(写真票と受験票は同じ写真を貼る。)
- (4) 実際の容姿と著しく異なるような加工等はしないこと。

5. 選択科目

志願者名票の選択科目欄の太枠内に各自の受験する科目に○印をつける。出願後の変更は認めない。

6. その他

- (1) 太枠内のみ記入すること。
- (2) 受験番号欄には記入しないこと。
- (3) 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正すること。
- (4) 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類の変更、返却及び検定料の払戻しは行わない。

○ その他の案内

奨学金、入学料徴収猶予、授業料徴収猶予、学生寮等

1. 奨学金

本学独自の奨学金として学部生成績優秀者奨学金があります。

学部生成績優秀者奨学金は、学部1・2年次から引き続き在学する本学学部3年生(中途に休学期間がない者に限る)のうち、1・2年次の成績等が特に優秀と認められた者に授与されます。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。これらを希望する者は、学生・キャリア支援課(gakusei@cc.ocha.ac.jp)に照会してください。

外国人留学生の奨学金については、国際課(Tel03-5978-5143)に照会してください。

2. 入学料及び授業料の徴収猶予

注意事項 入学料及び授業料を納入済の者は徴収猶予の対象となりません。

(1) 徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。又は、次のa、bに該当する特別な事情により納入が著しく困難であると認められる者。

a 本学学生又はその学資負担者が災害を受け、納入困難と認められる場合

b その他やむを得ない事情があると認められる場合

(2) 猶予期間について

入学料又は授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(9月30日が土、日祝日の場合は、直前の平日までとなります。)

(3) 申請時期

入学料徴収猶予 私費外国人留学生(学部留学生)特別選抜合格者の入学手続期間内(3月中旬)

授業料徴収猶予 3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日までとなります。)

3. 学生寮

本学には、学部生の入居できる以下の学生寮があります。

本学ホームページには写真付きで紹介がありますので、そちらもご覧ください。

入寮申請日程については、本学ホームページをご確認願います。

施設概要

寮名称	所在地	定員	居室	食事	寮費(1か月)	対象学生
音羽館	お茶の水女子大学 大塚キャンパス	450人	個室	なし	寄宿料 48,800 円 共益費 6,000 円 その他光熱水費等	学部生 大学院生 留学生
お茶大 SCC	文京区大塚	50人	個室 (ハス)	なし	寄宿料 30,000 円 その他光熱水費等	学部 1, 2年生 (含留学生)

寄宿料等については予定額であり、変動する可能性があります。

4. 入学料・授業料徴収猶予と学生寮の申請書類について

(1) 申請書の入手方法

お茶の水女子大学ホームページからダウンロードしてください。

① 入学料及び授業料の減免・徴収猶予制度について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/info/exemption.html>

② 学生寮について

<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/lodgings/index.html>

(2) 問合せ先

学生・キャリア支援課 入学料徴収猶予・授業料徴収猶予・学生寮担当

メールアドレス gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. アパート等の紹介

大学周辺のアパート等の情報については、いつでも学生・キャリア支援課で資料を閲覧することができますが、物件数等は必ずしも十分とはいえませんので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。また、大学の生協も民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています。

6. お茶の水女子大学交通案内

最寄り駅等	地下鉄 丸ノ内線	茗荷谷駅 から 徒歩 約7分
	地下鉄 有楽町線	護国寺駅(5番口)から 徒歩 約8分
	都営バス	大塚2丁目停留所前

◎ J R 池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕——約5分——→ 茗荷谷駅 下車
有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕——約4分——→ 護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口乗車〔東京ドームシティ行〕——約20分——→ 大塚2丁目停留所下車
(都02乙系統)

◎ J R 大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口乗車〔錦糸町駅前行〕——約10分——→ 大塚2丁目停留所下車
(都02系統)

◎ J R 東京駅又は J R 御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕——約5分—— 御茶ノ水駅 ——約6分——→ 茗荷谷駅下車



入学者選抜に関する問合せ先

お茶の水女子大学入試課

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

電話番号 03-5978-5151・5152

FAX 03-5978-5895

E-mail nyushi@cc.ocha.ac.jp

月曜日～金曜日(祝日は除く)9時～17時

※ 問合せはできるだけ志願者本人が行ってください

入試課ホームページURL (<https://www.ao.ocha.ac.jp/>)